ぐんま食の安全は



基本を実践!ノロウイルス食中毒を予防しよう

ノロウイルスは手指や食品などを介して口から感染し、おう吐、下痢、腹痛、微熱などを起こ します。また感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいウイルスです。昨今、 消毒用エタノールによる手指消毒が一般的になりましたが、実はノロウイルスにはあまり効きま せん。これからの季節を元気に過ごすための予防対策を確認し、実践していきましょう!

発生状況の特徴

令和6年に全国で発生したノロウイルス食 中毒は、右のグラフのとおりです。毎年、秋 から冬にかけて増加します。

ノロウイルス食中毒の特徴として、1件あ たりの患者数が多いことが挙げられます。

令和6年に発生した食中毒のうち、ノロウ イルス食中毒の占める割合は、事件数が約 27%なのに対して、患者数は約61%に上 ります。

1番大切な基本的対策

それは…手洗い!

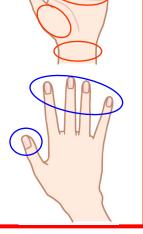




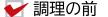
- ・指の付け根
- ・親指の付け根 ふくらみ
- ·手首

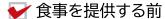
<手の甲>部分

・爪と皮膚の間、 甘皮の部分



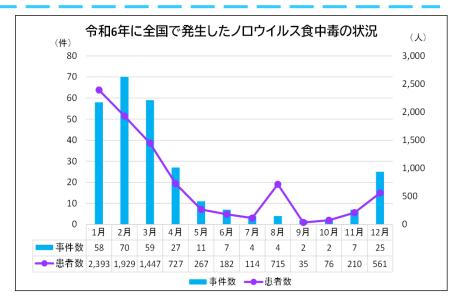
こんなときは、特に手洗い!





✔ トイレに行った後

▼下痢等の患者の汚物処理やおむつ交換後



手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効 な方法です。下図を参考に、洗い残しが多い部分を意識しなが ら、効果的な手洗いを実践しましょう!

O爪は短く切っておきましょう O時計や指輪は外しておきましょう





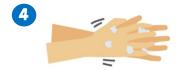


流水でよく手をぬらした後、石けんを つけ、手のひらをよくこすります。

手の甲をのばすようにこすります。

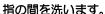
3





指先・爪の間を念入りにこすります。







親指と手のひらをねじり洗いします。

石けんで洗い終わったら

水で十分に流し、 清潔なタオルやペーパータオルで よく拭き取って乾かします。

手首も忘れずに洗います。

消毒用エタノールによる 手指消毒は、

手洗いの仕上げ と考えましょう!



料理をするときに心掛けたい対策

ノロウイルス食中毒は調理時の心掛けでも、予防で きます。対策を怠ると、被害の拡大にもつながります。

食材の中心部までの加熱

食材は中心部まで、85℃~90℃で 90秒以上、しっかり加熱!



ノロウイルスは食材の鮮度に関係なく、食材にウイル スが付着すれば、食中毒を引き起こしかねません。

上記の温度・時間での加熱でノロウイルスは死滅す るので、特に高齢者や子ども、免疫力の低下した人は、 加熱の必要な食品はしっかり加熱しましょう!

消毒も忘れずに!

調理器具や食器、ふきん等の消毒も こまめに行いましょう!



調理器具等は、スポンジに中性洗剤をつけて洗い、十 分な水で流しましょう。その後、次亜塩素酸ナトリウム で浸すように拭き、水洗いしましょう。

また、小物の調理器具やふきんなどは、熱湯消毒も有 効です(85℃以上で1分以上の加熱)。

調理する人の健康管理も大切

おう吐や下痢などの症状があるときは、 直接食品を取り扱う作業は避けましょう。

調理する人を介した食品のノロウイルス汚染は、大人数 の食中毒発生につながることがあります。調理に従事する 人は、日頃の自身の健康管理・体調に気を配りましょう。

感染者が出たときに広げない対策

環境の消毒

次亜塩素酸ナトリウムや

亜塩素酸水などの使用が効果的!



ノロウイルスは感染力が強く、環境(ドアノブやカー テン、リネン類、日用品など)からもウイルスが検出さ れます。

使用上の注意を確認しながら、次亜塩素酸ナトリウ ムなどの薬剤を使って、消毒することが有効です。

ふん便やおう吐物の処理

適切な装備をして、静かに速やかに、 乾燥しないうちに処理しましょう。



使い捨てエプロンやマスク、手袋などをして、ペー パータオルなどで静かに拭き取り、次亜塩素酸ナトリ ウムで浸すように拭き、その後水拭きします。

おう吐物などが乾燥すると、ウイルスが空気中に舞 い、口に入って感染してしまうことがあります。

LINE

を広げないことが大切です。

家庭用塩素系漂白剤で代用できます!

感染者が出た場合は、適切な対策をとって、感染

調理器具やドアノブなどの消毒 【濃度:約200ppm(0.02%)】



次亜塩素酸ナトリウムは



漂白剤の キャップ 1/2杯弱

水道水 3,000ml (500mlペットボトル6本分)

家庭用塩素系漂白剤 10ml (濃度6%の場合)

おう吐物などの汚染場所の消毒 (濃度:約1000ppm(0.1%))









水道水 3,000ml (500mlペットボトル6本分) 家庭用塩素系漂白剤 50ml (濃度6%の場合)

<参考>消費者庁HP「ノロウイルスに関するQ&A」、(公社)日本食品衛生協会資料「食中毒 予防のための衛生的な手洗いについて」

食の安全に関する

タイムリーな情報を

あなたの

スマホ・PCに

お届け します♪



受け取るための2ステップ 1

□38331 12832320 群馬県 デジタル窓口 を友だち追加



2 ぐんま食の 安全情報を 受取設定









本紙の感想や食品安全に関する 質問·相談などは、こちらへ。 「ぐんま食の安心ほっとダイヤル」

TEL:027-226-2424

FAX:027-243-3426

メール:shokuseika@pref. gunma.lg.jp

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 群馬県 食品・生活衛生課 食品安全推進室